

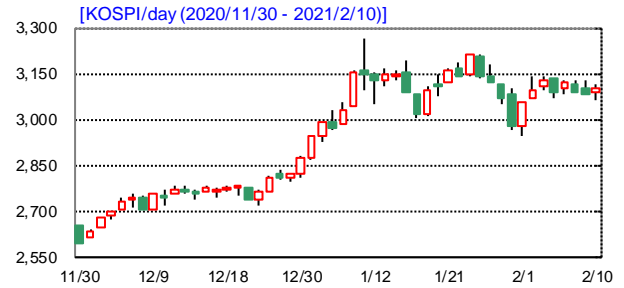


【韓国】 総合指数は 0.6%安と反落、今週は米経済対策期待などから堅調か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 0.6%安と反落した。11-12 日が旧正月（ソルラル）で休場のため、3 日間の取引だった。連休の前に節目の 3100 ポイントを挟んで一進一退の展開。8 日は米アップルとの提携交渉を否定した起亜自動車の急落で地合いが悪化し、節目の 3100 ポイントを割り込んだ。9 日はこの節目を回復する場面もあったが、利益確定売りが次第に優勢になった。10 日は前日の米ハイテク株高を好感して 3 日ぶりに反発し、3100 ポイントを回復して終えた。ただ、1 月の失業率が 21 年ぶりの高水準だったことが嫌気されたほか、連休を控えていることから上値は重かった。今週は米追加経済対策や金融緩和の長期化期待から堅調に推移するか。国内の経済指標では 16 日に輸出物価上昇率、17 日にマネーサプライが発表される。

▼指数チャート

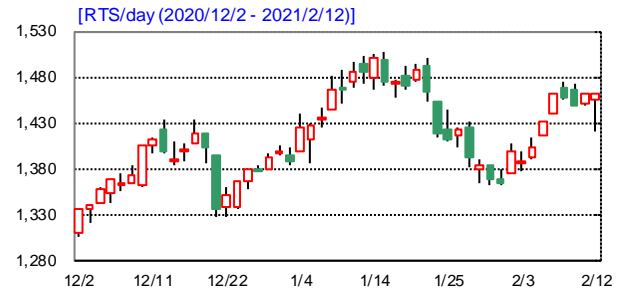


【ロシア】 RTS 指数は週間で 2.1%高と続伸、今週は好調な原油相場が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 2.1%高と続伸。EU による経済制裁が懸念されたが、欧米株高、原油高、ルーブル高が支援となった。前週に 4.7%高と大幅に反発した RTS 指数は週明け 8 日も欧米株高や原油高、ルーブル高を受けて前営業日比 2.1%高と 3 日続伸。高値警戒感から 9-10 日に続落したが、11 日はルーブル高を支援に押し目買いが強まり反発した。12 日は EU による対ロ経済制裁懸念から一時 3%近く下落したが、原油高などが好感され、わずかながらプラス圏で終えた。終値は 1 月 21 日以来の高い水準だった。個別では、時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが 2.1%安となった一方、エネルギーのロスネフチが 3.1%高、ガスプロムが 2.1%高と上昇し、指数を押し上げた。今週は好調な原油相場の動きが焦点か。

▼指数チャート



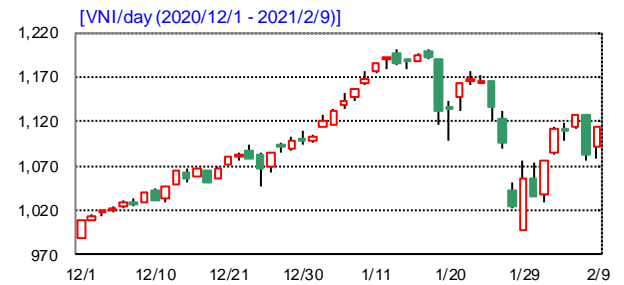
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 1.1%安と反落、今週は旧正月の連休明けで堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.1%安と反落。旧正月の連休を前に利益確定売りが強まり、週明けに大幅安となったが、9 日は反発し、下落幅を縮めた。先週は 10-12 日が旧正月の連休で、2 日間の取引。週明け 8 日は指数が前営業日比 3.9%安と大幅に反落。前週に 6.7%高となった反動に加え、旧正月の長期休場を控えて優良株を中心に利益確定売りが強まった。ただ、9 日は金融株やエネルギー株が買い戻され、2.9%高と反発した。個別では、消費財コングロマリットの FTP が 2.3%高、エネルギーのベトナム石油総社が 1.5%高となった一方、ゴム製品のベトナム・ラバーが 6.4%安、金融のベトナムバンクが 2.8%安、ベトナム投資開発銀行が 2.4%安となり、指数を押し下げた。今週は 17 日に取引が再開する。連休明けで堅調か。

▼指数チャート



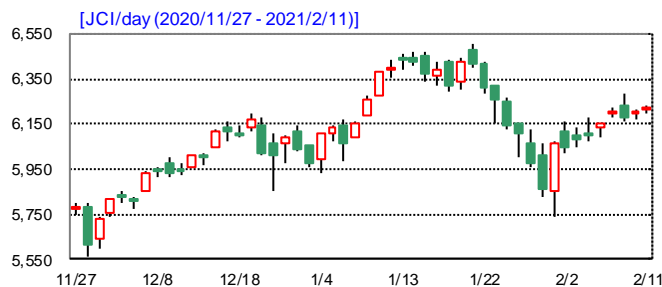


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.2% 高、6200 ポイントを挟んでもみ合い

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で1.2%高と続伸。6200ポイントを挟んでもみ合った。週初の8日は、米国の追加経済対策の成立に対する期待感から買われ、指数は終値で2週間ぶりに6200ポイントを回復。一方、9日は中央銀行のペリー総裁が景気回復の遅れを懸念したほか、20年12月の小売売上高が前年同月比19.2%減と低迷した影響で5営業日ぶりに反落した。ただ、10日に買い戻されると、11日も続伸して連休前の取引を終えている。今週は15日に1月の貿易統計が発表されるほか、18日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開く予定で、政策金利は3.75%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート

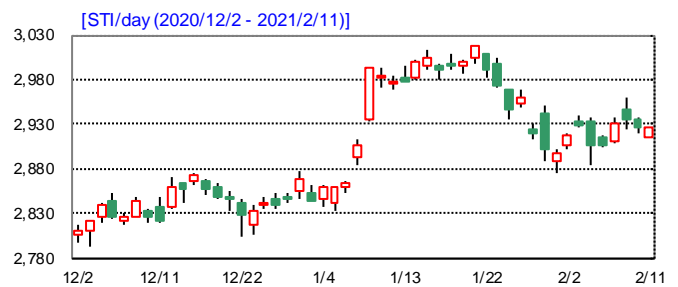


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.6%高、今週は 17 日に 1 月の非石油地場輸出発表

ストレーツタイムズ指数は4日間の取引で0.6%高と続伸。旧正月の連休を控えた様子見で、小幅な値動きとなった。週前半は前週から続くNYダウの上昇を背景に9日まで3営業日続伸。ただ、10日に反落すると、半日立ち合いとなった11日は前日からほぼ横ばいで連休前の取引を終えた。今週は17日に1月の非石油地場輸出が発表される予定で、前月に続き2カ月連続で前年同月の水準を上回るとの見方が優勢。外部要因では米FOMC議事要旨の内容が意識されそう。前週末のNYダウが新型コロナウイルスのワクチン普及と経済回復に対する期待感から過去最高値を更新したことは株式相場の追い風。

▼指数チャート

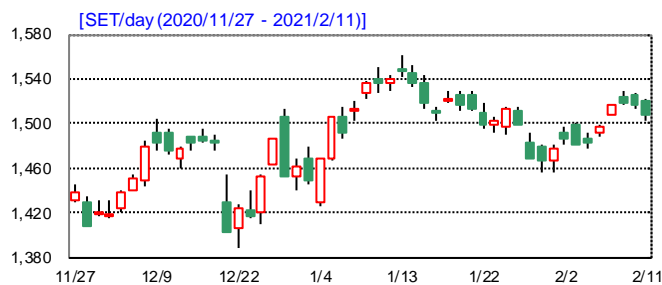


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.8%高、今週は 20 年 10-12 月期の GDP が焦点

SET指数は4日間の取引で0.8%高と続伸。国内の経済イベントが少ない中、終始1500ポイント台を維持した。週初の8日は、前週末のNYダウが5日続伸したほか、原油先物価格の上昇も買い材料視され、指数は前営業日比1.3%高と3日続伸。9日も小幅に上昇したが、10-11日は9日に民主活動家4人が不敬罪で起訴されたことに対する大規模な抗議デモが行われた影響などで売り優勢の展開となった。今週は15日発表の20年10-12月期のGDPに対する市場の反応が焦点。18日には指数ウェートの大きいタイ石油公社(PTT)の決算発表が予定されており、内容次第で株式相場の支援材料になりそうだ。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%高、今週は終値で 1600 ポイント回復に期待

クアラルンプール総合指数は4日間の取引で1.3%高と続伸。おおむね堅調に推移した。週初の8日は、20年12月の鉱工業生産が市場予想から上振れし、前年の水準を上回ったものの効果は薄く、指数は続落。一方、9日は前日のNYダウが過去最高値を更新した流れで3営業日ぶりに反発すると、10日は原油価格の上昇や世界経済回復への楽観的な見方が広がった効果で買い優勢の展開が続いた。半日立ち合いとなった11日は20年10-12月期のGDPが前年同期比3.4%減と市場予想から下振れたが、指数は小幅に上昇している。今週は国内の重要イベントが少ない中、終値で1600ポイントを回復できるかが焦点。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。